

好天に恵まれ

節婦町で大量の昆布干し



8月1日、節婦町で、家族ぐるみの昆布干し作業が行われました。
昆布漁はこの日が今年4回目。早朝に出漁した船が持ち帰った昆布は、干場で手際よく並べられ、太陽の光を浴びて干し上げられました。この日、家族の昆布干しを手伝っていた小学2年の関口瑛太さんは、「今年は暑くて大変だけど、昆布干しは楽しい」と笑顔で話していました。

井上達也さんに感謝状を贈呈

新冠町へ多額の寄附



8月4日、字中央町の井上達也さんから100万円の寄附をいただき、感謝状を贈呈しました。
井上さんは井上歯科医院を開業し、歯科医療に尽力されてきましたが、開業50年を迎える今年7月で閉院を決断されました。
井上さんは、「多くの仲間ができました。今後も新冠との交流を大切に継続していきたい」と話されました。

にいかつぷキッチンに

新冠産野菜直売店が開店



8月13日、にいかつぷキッチン内に、社会福祉法人新冠ほくと園が運営する「おうちごはん屋えましましあ」がランドオープンしました。このお店は、地元野菜を販売する場として、町内の8農家と連携しています。お店では野菜の直売に加え、全国の障がい支援施設で製造された商品のほか、お弁当なども販売しています。また、お弁当は、「えましましあ」がお店で販売している野菜を活用し、調理したもので、農福連携を視野に入れた新たな取り組みとなっています。

北海道の伝統的な七夕行事

「ろうそく出せ!2023」



8月5日、新冠町青年団体連絡会議主催による「ろうそく出せ!2023」が行われました。これは、北海道の伝統行事を子どもたちに体験してもらおうと、平成26年より行われている行事です。参加した148名の小学生は、町内8つのチェックポイントで「はやし唄」を歌い、26事業所が用意したお菓子をもらうと元氣よくお礼をしていました。

ふるさと・再発見講座で

トンボ玉づくりに挑戦



8月6日、ポロシリ生活館でふるさと・再発見講座『トンボ玉づくり制作体験』が行われました。
トンボ玉とはガラス玉のことで、トンボの目玉に似ていることから、このように呼ばれています。
参加した10名は、トンボ玉づくりに挑戦し、高温でやわらかくなったガラスの扱いに苦労しながらも、きれいな作品を制作していました。

夏休みの体験事業

小中学生がパン作りに挑戦



8月7日、新冠ほくと園が地域ふれあい事業として、ミルトパン工場でのパン作り教室を開催しました。小中学生7名はスタッフの説明を受けながら、メロンパン、塩パン、ウインナーパン作りに挑戦しました。子どもたちは生地をこねて形にする難しさを感じながらも、笑顔を絶やさずパン作りに取り組みました。

ま ち の 話 題

あれこれ

朝日小学校で

閉校記念キャンプを開催

8月18日と19日に朝日小学校で閉校記念キャンプが開催されました。これは閉校前に大切な思い出を作るためPTAが主催し、児童、保護者、教員、卒業生など99名が参加しました。キャンプ事業は校内宝探しから始まり、夕食では保護者手作りのカレーが振る舞われました。日が沈んでからのキャンプファイヤーは、校長とPTA役員が扮する火の神による点火式が行われ、じゃんけん列車、フォークダンス、花火で盛り上がりました。2日目はミニ運動会が行われ、思い出いっぱいのキャンプ事業が終了しました。

冠中吹奏楽部

全道出場を報告



8月5日に行われた日胆地区吹奏楽コンクールで見事金賞に輝き、2年ぶりに全道吹奏楽コンクールの出場権を獲得した新冠中学校吹奏楽部15名が24日、鳴海町長を敬訪問しました。部を代表して、部長の宮本那智さんから「地区大会の反省を活かして、全道金賞を目指したい。精いっぱい、頑張ります」と意気込みを述べました。

老人クラブのスポーツ大会

歓声上げて楽しく体を動かす



8月29日、スポーツセンターで、新冠町老人クラブ連合会が4年ぶりに『第46回スポーツ大会』を開催し、約80名が参加しました。参加者は、紅白のチームに分かれて「夏の雪かきリレー」「空を駆ける長靴」など10種目の競技で競い合い、一風変わった競技を楽しみながら体を動かす、活気にあふれた1日になりました。

4年ぶりの通常開催

にいかつぷふるさと盆踊り



8月12日、新冠町青年団体連絡会議主催『にいかつぷふるさと盆踊り2023』が役場駐車場で行われました。お菓子まきや子牛とのふれあい、ポニーサイクルなどのイベントに参加するため、早くから浴衣姿の子どもたちが集まりました。盆踊りが始まると、沢山の方が、やぐらを囲み笑顔で踊り、新冠の夏を楽しみました。